

H29A 3

自校採点結果による正答率( )%

5 現在、六月十日には時間や時計に関する催しが行われているところもあります。

4 「時の記念日」は、国民の祝日には制定されていませんが、多くの人々によく知られる記念日となっています。

3 「時の記念日」は、時間を守って行動し、規則正しい生活を心がけ、時間を大切にしようとする意識を高めていくために定められたとされています。

2 「日本書紀」には、「天智天皇の十年四月二十五日（今のこよみでは六七一年六月十日）に漏刻で計った時間を、かねやたいこを鳴らして人々に知らせた」と書かれています。このことから、大正時代になってこの日が「時の記念日」となりました。

1 昔の人たちは、空での太陽や星の動き方、水や砂の落ち方、線香の燃え方などで時間を計っていました。日本ではじめて作られた時計は、中国から伝わった「漏刻」といって、水が次々に落ちていくことで時間を計る水時計であったと言われています。

【資料】 段落のはじめにある数字は、その段落の番号を示しています。

【出題の趣旨】

目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読む。

【予想される誤答例】

小野さんを3と解答している。  
今村さんを4と解答している。

【誤答の原因】

- ・文章の要点を捉えることができてない。
- ・課題に合った情報を選ぶことができない。

【指導のポイント】(各学年でのポイント)

第1学年及び第2学年

- ・内容の大体を読む。
- ・大事な言葉や文を抜き出す。
- ・登場人物の行動を中心に想像を広げる。

第3学年及び第4学年

- ・登場人物の行動、会話をもとに登場人物の人物像を叙述をもとに想像する。

【過去の類似問題】

H24A 5 ア      H24A 5 イ      H27B 2 ア      H27B 2 イ

H28A 4 (2)

自校採点結果による正答率( )%

イ ひやひやと月も白しや秋の風  
上島 鬼貫

（調べた内容）  
季語：秋の風      季節：秋  
この俳句は、「秋のこちよい風が  
ふく中では、月の色もひんやりと白っ  
ばいなあ。」とよんでいるそうです。

ア 雪とけてくりくりしたる月夜かな  
小林 一茶

（調べた内容）  
季語：雪とけて      季節：春  
この俳句は、「寒い冬が終わり、雪が  
とけ、春が来た。月もきれいで明る  
くかがやく夜だなあ。」とよんでいる  
そうです。

【俳句カード】

【出題の趣旨】

俳句の情景を捉える。

【予想される誤答例】

3 「月」が話し合いで  
繰り返し出ているため

【誤答の原因】

- ・俳句の特徴を捉えていない。
- ・二つの句の共通点を見つけない。

【指導のポイント】(俳句の授業における指導過程の例)

- ①俳句と他の文をくらべ、特徴やよさを出し合う。
- ②短歌や俳句を暗唱したり、音読したりして、音のリズムや美しい響きを味わう。
- ③俳句に表れている情景や作者の思いについて感じたことを叙述をもとに話し合う。
- ④好きな俳句を選び、なぜ選んだか、根拠をもとに俳句のよさを紹介し、友達と共通点や差異点を話し合う。

【過去の類似問題】

H25A 6 ア イ

【話し合いの様子】

北田 アの句は、「くりくりしたる」の「くりくり」が  
おもしろいね。声に出して読んでみるよ。(音読)

中西 リズムよく読めて、読むのが楽しくなるね。  
「くりくり」というのは、月の(A)を表  
しているのかな。春になったのがうれしいのか  
もしれない。

本間 イの句の「ひやひや」も「くりくり」と似て  
いるね。どちらも声に出して読んで紹介すると、  
俳句のよさをもっと伝わりそうだよ。(音読)

「ひやひやと」を声に出して読むと、ひんやり  
した感じがますます伝わってくるような気が  
した。「白」という月の色も、なんだかひんやり  
とした感じがするね。

青木 そうか。ふいてくる風からも、見ている月か  
らも、ひんやりした秋を感じているんだね。

中西 作者の伝えたかったことって、今、青木さんが  
言ったことなのかもしれないね。このことも  
みんなに紹介しよう。

H29B 3 3

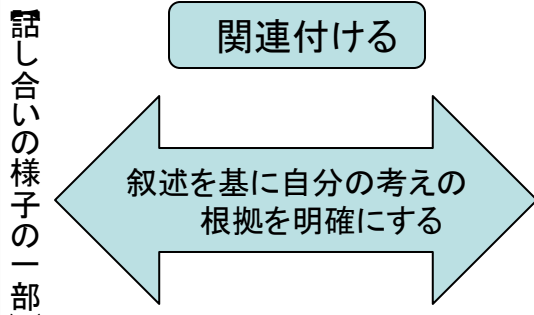
物語を読み、具体的叙述をもとに理由を明確にして、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

自校採点結果による  
正答率( )%

【問題】「話し合いの様子の一部」の中のBのところ、田中さんは、「物語の一部」の言葉や文を取り上げながら、松ぞうじいさんやとび吉がきつねであると考えたわけを話しています。あなたが田中さんならどのようなわけを話しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

横山 (1)を示しながら「ここにもあるよ。人間にうちとられたり」と書いてあるけれど、もし、松ぞうじいさんが本当に人間なら、人間に「とかうちとられた」とは言わないと思うから、松ぞうじいさんはきつねだと考えることもできるね。

田中 そこからも、松ぞうじいさんがきつねだと考えられるね。他にも見つけたよ。



【予想される誤答の原因】

- ・根拠となる叙述が正しく選ばれていない。
- ・取り上げた言葉や文を基に、なぜきつねだと考えられるか根拠を書いていない。
- ・無回答

物語の一部】

たずねてきたのは、山野さんという、まだわかい新聞記者でした。山野さんは、いっしょうけんめいにいました。

「こんどの日曜版に、きつねの特集をやるんです。それで、この「松ぞうじいさん」にきつねがいるということですので……、その写真をおもひまして。」

「それまでできくと、松ぞうじいさんの目に、なみだかきらりとひかりました。」

授業場面で(考えの根拠となる叙述をもとに自分の考えをつくる授業)

今日の学習を振り返り、自分の考えをまとめましょう。

なぜ、松ぞうじいさんがきつねといえるのか、次の条件にあうように書きましょう。

本文のどの言葉からきつねと思ったのか、根拠を抜き出しましょう。また、なぜそう考えたか理由を書きましょう。

Point 「きつねと分かる言葉を探す」という焦点化した課題を設定することで、全文から課題に合った根拠を取捨選択する力を身に付けることができますようにします。

Point 抜き出した理由を書かせることで、書かれている言葉の意味を解釈する力や解釈したことを基に、自分の考えを表現する力を育成することができます。

「きつねの写真」を読んで心に残ったところはどこかな。

不思議な感じがする。きつね、松ぞうじいさんはきつねだよ。

きつねなの？本当にそうなのかな？どこからそう思うの？

まだ、ほかにもありそうだな。みんなは、どう考えているかな。

二人をとった写真にきつねがうつっているから、きつねじゃないかな。

自分の考えを書いたけど、これでいいの不安だな。友達は、どんなことを書いているのか話し合いたいな。

友達が発表した中で、説明が分かりやすく、自分の意見に取り入れたいことはありませんでしたか。

あの友達がいった理由は、すごく分かりやすかった。「もし、～なら」などを使って自分の考えを伝えてみよう。

Point 交流の場では、叙述から想像したことや自分の考えを伝え合わせる場をしっかりと設定しましょう。子供の発言をしっかりと板書しましょう。

Point 叙述を根拠に自分がなぜそう思ったかを伝え合いたくなるように「どこからそう思ったのか」「なぜそういえるのか」を子供に問いましょう。

- ・一番強く思った叙述を取り上げること。
- ・その理由も書くこと。
- ・100字以内で書くこと。

Point 一番強く思ったことを選ばせることで、まとめを書く意欲を高め、根拠と理由を書く力を繰り返し育成することができます。

終末

展開

導入

めあて

どうして、松ぞうじいさんがきつねといえるのか話し合おう。

松ぞうじいさんの目になみだかきらりとひかりました。

自分の仲間が人間にうちとられた悲しい出来事を思い出す。仲間を忘れられない仲間を思う気持ち。仲間を大切にしている。

人間にうちとられたり

たとえ

もし、自分が人間ならわざわざ人間という言葉を使わない。苦しさをやさしくやるせなさが伝わる

夕日の光をさえぎりながら

想像したこと  
自分の考え

むかいあつたふたり

むかいあつたという同じ言葉

比較

光をさえぎるひたいに手、しぐさが同じである。

むかいあつた大きなきつね小さなきつね

関係づけ

きつねと思わせる叙述が散りばめられている。

大きなきつねはひたいに手をかざす

人間の姿でいるときと、きつねの姿でうつっているときのしぐさ、様子数が同じである。

松ぞうじいさんの目に、なみだかきらりとひかりました」というところから、人間にうちとられた仲間を思うきもちがあらわれている。もし人間なら涙を流さなと思ったから。